

教科	社会	履修学年	第3学年	指導時間	140 単位時間	担当者	
使用教科書	新しい社会 歴史 (東京書籍) 新しい社会 公民 (東京書籍)	補助教材					
目標	広い視野に立って、社会に対する関心を深め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。						
評価の観点	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の 技能	社会的事象についての知識・理解			
趣旨	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。			
評価資料	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等	定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
4	6章「二度の世界大戦と日本」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長期のさまざまな社会的事象に対して、興味・関心をもち、適切な課題を意欲的に設定し、課題解決に取り組む。 ・現代社会の特色を、自らの社会生活と関連づけ、国際社会における日本の役割を踏まえながら、地理や歴史で学習したことと関連させ、思考判断する。 ・年表などから、適切な課題を設定したうえで課題にあった資料を収集し、まとめ、他の人にわかりやすく自分の考えを発表する。 	社会的事象への関心・意欲・態度	・新しい日本の建設、経済や科学技術の急速な発展と国民生活の向上、国際社会における我が国の役割の増大など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して現代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとする。
	「世界恐慌と日本の中国侵略」			社会的な思考・判断・表現	・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰や第二次世界大戦後の諸改革の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	「第二次世界大戦と日本」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長以降の日本の発展の過程を、自らの生活意識や国際社会における日本の役割の高まり、貿易の変化や諸外国との関係などを通して理解する。 ・高度経済成長時代と現代の比較 ・問題意識をもち仮説検証を進める学習方法を把握 	資料活用の 技能	・冷戦、我が国の民生化と再建の過程、国際社会への復帰などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	「戦後日本の発展と国際社会」	11		言語活動 生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図るために、教材に応じてペアトーク、グループ討議ディベート、新聞スクラップ、小論文等を実施する。	社会的事象についての知識・理解
5	第7章「現代の日本と世界」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長期のさまざまな社会的事象に対して、興味・関心をもち、適切な課題を意欲的に設定し、課題解決に取り組む。 ・現代社会の特色を、自らの社会生活と関連づけ、国際社会における日本の役割を踏まえながら、地理や歴史で学習したことと関連させ、思考判断する。 	社会的事象への関心・意欲・態度	・新しい日本の建設、経済や科学技術の急速な発展と国民生活の向上、国際社会における我が国の役割の増大など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して現代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとする。
	「戦後日本の発展と国際社会」			社会的な思考・判断・表現	・高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	総復習テスト	1	資料活用の 技能	・高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
6	「新たな時代の日本と世界」	7	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長期のさまざまな社会的事象に対して、興味・関心をもち、適切な課題を意欲的に設定し、課題解決に取り組む。 ・現代社会の特色を、自らの社会生活と関連づけ、国際社会における日本の役割を踏まえながら、地理や歴史で学習したことと関連させ、思考判断する。 	社会的事象への関心・意欲・態度	・新しい日本の建設、経済や科学技術の急速な発展と国民生活の向上、国際社会における我が国の役割の増大など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して現代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとする。
	まとめ 評価	1		社会的な思考・判断・表現	・高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
7	第1章「わたしたちの生活と現代社会」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長期のさまざまな社会的事象に対して、興味・関心をもち、適切な課題を意欲的に設定し、課題解決に取り組む。 ・現代社会の特色を、自らの社会生活と関連づけ、国際社会における日本の役割を踏まえながら、地理や歴史で学習したことと関連させ、思考判断する。 	資料活用の 技能	・高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	まとめと評価			1	社会的事象についての知識・理解
8	第2章「人間尊重と日本国憲法」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が最高法規であり、憲法によって国民の自由と権利が守られ、民主的な政治が行われていることを考える。 ・日本国憲法の三大原則を理解し、とくに民主的な社会の根本には基本的人権の尊重が重要であることを理解する。 ・政治を最終的に決定する主権が国民にあり、その権力は国民が選挙で選んだ代表者によって行使されていることを理解する。 	社会的事象への関心・意欲・態度	・現代日本の社会や我が国の伝統と文化に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。
	日本国憲法			1学期小計(49)	社会的な思考・判断・表現
	基本的人権の尊重	15	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法の平和主義によって、日本は戦争をせずに平和を守ってこられたことや平和を守るための努力を資料などを活用して理解する。 ・最高法規としての憲法 ・憲法と法律の違い ・法の支配 ・日本国憲法の制定 ・基本的人権の尊重、国民主権、平和主義 	資料活用の 技能	・現代日本の社会や我が国の伝統と文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
国民主権					
9	平和主義	15	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法の平和主義によって、日本は戦争をせずに平和を守ってこられたことや平和を守るための努力を資料などを活用して理解する。 ・最高法規としての憲法 ・憲法と法律の違い ・法の支配 ・日本国憲法の制定 ・基本的人権の尊重、国民主権、平和主義 		
	総復習テスト				

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
10	第3章「現代の民主主義と社会」 国会 内閣 裁判所 三権分立 地方自治 中間テスト	16	言語活動 生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図るために、教材に応じてペアトーク、グループ討議ディベート、新聞スクラップ、小論文等を実施する。	社会的時事についての知識・理解 ・現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。	
			社会的時事への関心・意欲・態度 ・人間の尊重についての考え方や法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。		
			社会的な思考・判断・表現 ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、民主的な社会生活にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
			資料活用の技能 ・人間の尊重についての考え方や法に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		
	第4章「私たちのくらしと経済」 総復習テスト	16	言語活動 生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図るために、教材に応じてペアトーク、グループ討議ディベート、新聞スクラップ、小論文等を実施する。	社会的時事についての知識・理解 人間の尊重の考え方、法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解し、その知識を身に付けている。	
			社会的時事への関心・意欲・態度 ・個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。		
			社会的な思考・判断・表現 ・社会における企業の役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について個人や企業の経済活動にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
			資料活用の技能 ・個人や企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		
	12	消費者としての経済 企業と日本の経済 資本主義経済 期末テスト 納税と国民経済	12 2学期小計 (59)	・経済単元の導入学習で、経済に興味・関心をもち、学習意欲を高める。 ・実際の消費活動を通して、商品やサービスを購入するときに選択の原理がはたらいっていることに気づき、貨幣を有効に使う方法を考える。 ・資料をもとに、商品の価格が決まる要素を導きだし、市場経済の基本的な考え方を、身近な事例を通して理解する。 ・預金 お金の役割 ・価格（市場価格と公共料金） ・需要量と供給量 ・限られた資源 ・個人の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。 ・個人の経済活動のあり方についてさまざまな立場から公正に判断している。 ・個人の経済活動に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。 ・経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方の知識を身につけている。	社会的時事への関心・意欲・態度 社会的な思考・判断・表現 資料活用の技能
		学年末テスト	12	言語活動 生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図るために、教材に応じてペアトーク、グループ討議ディベート、新聞スクラップ、小論文等を実施する。	社会的時事についての知識・理解 ・経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、生産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について理解し、その知識を身に付けている。
第5章「地球社会とわたしたち」 国際連合のはたらき		社会的時事への関心・意欲・態度 ・国際社会の活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。			
2		持続可能社会のために 南北問題と環境問題 公民のまとめ まとめと評価	16 3 4	・日本の国家と国旗の問題、領土問題について関心をもち、主権国家の意義と国際社会で守るべきルールについて理解する。 ・国連の組織と役割のあらましを理解し、具体的な活動に関心をもち、地球市民として国際的な課題に取り組む意欲を育てるとともに、国連の活動の現状を知り、国連の課題について多面的・多角的に考える。 ・国際社会のなかで、国連とともに重要性が増している地域機構の役割とその発展の現状を知り、これからの地域機構のあり方を考える。 ・国際社会でおきている戦争の現状を知り、平和に共存できる社会の実現への意欲を高め、平和への条件について考える。 ・日本が行っている国際平和への協力の現状を理解し、唯一の被爆国である日本の核廃絶への取り組みのあり方を考える。 ・南北問題の現状と、日本が行っている経済的な国際協力の現状とを理解し、今後の日本の国際協力のあり方を考える。	社会的時事への関心・意欲・態度 社会的な思考・判断・表現 資料活用の技能
	3	言語活動 生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図るために、教材に応じてペアトーク、グループ討議ディベート、新聞スクラップ、小論文等を実施する。	社会的時事についての知識・理解 ・国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際機構などの役割の大切さについて認識し、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、国際社会における課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることについて理解している。		
	3学期小計 (32) 合計 (140)				
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、学習形態等)	・学習指導要領における基礎・基本事項を繰り返し指導を行う。(地理的思考力 歴史的思考力 公民的資質の育成) ・単元ごとに適切に課題を設け、新聞やレポートを作成させ表現力育成をすすめる。 ・授業を通して、思考・判断したことを聞く人にわかりやすく説明できる言語力を養う。 ・日頃から新聞記事やニュースなどの時事問題に関心をもち、それに対する意見が持てるように指導をすすめる。 ・小単元ごとに評価活動(小テストなど)を実施して学力の定着をはかる。 ・ノート指導を適宜行い、情報収集・活用能力の育成に努める。			
	学習上の留意点 受講上の注意	・学習規律を大切に、聞きあい話し合える学習集団作りに努める。 ・学力の向上の視点から忘れ物に対してはきびしく指導をすすめる。 ・思考力・判断力育成の視点から誤答も大切に。			